令和7年度

指定管理者実績評価シート

１．基本情報

施設名		柏寿荘，南部老人福祉センター，沼南老人福祉センター
設置目的		老人福祉法第１５条第５項の規定により，老人福祉の増進を図る
指定管理者	名称	社会福祉法人　柏市社会福祉協議会
	所在地	柏市柏５－１１－８
	その他	※指定管理者が共同企業体の場合は，構成団体名を記入
指定期間（南部，沼南）		令和　3　年　4　月　1　日　～　令和　8　年　3　月　31　日　（　5　年目）
指定期間（柏寿荘）		令和　5　年　4　月　1　日　～　令和　8　年　3　月　31　日　（　3　年目）
施設所管課		健康医療　部　高齢者支援　課

２．評価

※　指定管理者からの各種報告書や実地調査等の結果を踏まえた評価を「評価基準」に基づき記入。

※　施設の特性に沿って，市が指定管理者に何を求めるのか，それを評価するために**適切な評価項目を必要に応じて追加**。

※　評価に対するコメント欄は，市が指定管理者に求める運営内容に対し，どのような結果であったかという視点から，全ての評価に対してコメントを記入。

	項目	内容	評価	評価に対するコメント
施設管理・運営	**維持管理**	施設や設備の保守点検，整備，清掃等の適切な管理が仕様書や事業計画書どおりに行われているか。	B	設備の状況把握と共に，保守点検・小規模修繕等を適宜行い，報告もされている。
	安全管理・危機管理	警備や防犯対策，衛生管理が仕様書や事業計画書どおり適切に行われているか。 防災，防犯，緊急時の対策が整備され，それに沿った運用が行われているか。	B	傷病や緊急時，苦情時はマニュアルや研修に基づき適切な対応をしている。また適宜報告もされている。
	職員体制	仕様書や事業計画書に定めたとおり，安定的な運営が可能となる職員体制が取れているか。	B	安定的な運営による職員体制の確立が取れており，さらに専門職職員から随時協力を得られる体制が整えられている。
	職員の育成	職員の指導育成，研修体制，接遇状況は適切か。	B	職員は内部研修や外部研修へ参加することにより資質の向上に努めている。
	運営体制	組織体制，連絡網等によるサポート体制が整備されているか。	B	定期的に所長会議，スタッフ会議を実施し，情報の提供を行っている。
		委託先との連携は図られているか。	B	専門的な技術や資格を必要とする業務は，適切な調査を行い，委託している。
	自主モニタリング	より良い施設の管理運営に向けた取組みを継続的に行っているか。	B	利用者の直接の声を聞き，要望の具体的な反映等を行い，適切な市民サービスの提供と施設運営に努めている。
サービスの質の向上	**施設の利用実績**	仕様書や事業計画書等に定めた利用実績（利用者数等）があるか。	B	健康増進につながる講座を積極的に実施し，新規・現利用者の確保に努めている。
	実施事業の質の向上	仕様書で定めた事業や施設の効用をより発揮するような自主事業等を適切に実施しているか。	B	陶芸教室やセンターまつりなど，施設利用の促進を図る事業を実施している。
	利用者への対応	利用者の平等な利用が確保されているか。 利用者への対応は適切か。	B	定期的な施設巡回による利用者の安全確保と衛生管理を徹底している。
	利用者満足度	施設の管理運営に対する利用者の満足度はどうか。	A	利用者アンケートでは，個人利用，団体利用共に約90%以上が満足と回答している。
	情報の発信	施設のＰＲや広報活動を適切に実施しているか。	B	分野横断的な地域づくりのノウハウを活かし，広く一般市民への周知や情報提供による平等利用を促進している。
	地域等との連携	周辺地域，関係機関，ボランティア等との連携や情報交換等を図り，円滑な運営を行っているか。	B	地域組織である町会，自治会やふるさと協議会，地区社会福祉協議会等，福祉団体や医療機関等幅広く連携している。

効率的な管理	**収支決算状況**	収支計画書に記載された予算と事業報告書に記載された決算で大幅な相違はないか。	B	大幅な相違はない
	利用料金の徴収	事業計画書どおりに利用料金を適切に徴収しているか。	B	事業計画書どおり，料金を適切に徴収している。
その他	**雇用関係**	障害者や高齢者等の雇用は仕様書や事業計画書に記載されたとおりとなっているか。	B	職員の高齢者・障害者雇用をはじめ，庭園の剪定を柏市シルバー人材センターに依頼する等，高齢者雇用にも配慮している。
		市内在住者の雇用確保が図られているか。	B	市内在住者雇用は配慮されている。
		雇用保険や労災保険には加入しているか。	B	必要な保険に加入している。
		最低賃金は確保されているか。	B	適切な賃金体制を確保している。
	市内産業の振興	市内産業の振興への配慮はされているか。	B	維持管理に必要な専門業者による点検業務委託を市内業者に委託している。
	環境保護	環境基本計画，地球温暖化対策の実現に取組んでいるか。	B	節電，節水，ゴミの分別・削減等環境に配慮している。
	法令遵守	法令等は遵守されているか。	B	コンプライアンスに関する規定や関係法令を遵守している。
	個人情報保護 情報公開	個人情報は適正に管理されているか。 情報公開請求への対応は適切か。	B	個人情報の取り扱いや情報公開の対応は適切である。

【個別評価項目の点数換算】

A（優良）： 8点	B（適正）： 5点	C（課題有）： 2点	D（要改善）： 0点

総合評価	B（適正）	（合計点： 118 点）（得点率： 81 %）※小数点以下，切捨て （満点 ： 145 点）
総評	施設の管理・運営，サービスの向上等協定書を遵守しており，指定管理者業務の管理運営状況は概ね良好である。定期的な調整会議だけではなく，必要に応じて適宜報告もなされ，効率的な施設管理を担っている。利用者の固定化が課題となっている老人福祉センターではあるが，新規利用者と講座の参加者数は増加傾向にあり，指定管理者の積極的な利用の促進に寄与するものである。現在の利用者が安心して利用できる環境を継続しつつ，引き続きイベント等の実施や声掛けを通して，利用者の拡大を図っていただきたい。	

【総合評価の算出方法】

A	優良	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が85%以上　かつ　すべての項目においてＢ評価以上 かつ 評価項目【施設管理・運営】及び【サービスの向上】の各区分においてＡ評価があり，当該2区分におけるＡ評価が4項目以上
B	適正	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が75%以上　かつ　Ｄ評価がなく，Ｃ評価が1項目以下
C	課題有	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が40%以上　かつ　Ｄ評価が1項目以下
D	要改善	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が40%未満　または　Ｄ評価が2項目以上

３．課題解決の結果　※　事業年度とその前年度に生じた課題への対応結果を，いつ頃どのように改善したか等を記入

【事業年度とその前年度からの課題】
今後の老人福祉センターの在り方を見据えると，既存利用者に配慮しながら多世代交流を推進し，新規利用者の獲得につながる施設環境を醸成していくことが課題である。また，物価高騰の影響を踏まえ，コスト削減を意識しつつ安全な施設運用を維持していくことも求められる。

【課題への対応結果】
実施講座の精査・検討や，未登録の講座参加者への利用促進により，新規登録者及び実施講座の参加者数の増加につながった。
また，物価高騰の中でもコスト削減を意識した運営を行い，光熱水費の支出を前年度より抑制することができた。

４．次年度の管理運営に向けた課題　※　次年度の管理運営に向けての課題や指定管理者に取組んでほしいこと等を記入

令和9年度より老人福祉センターが多世代利用の施設となることから，令和8年度は現利用者に配慮しつつ，多世代に向けた施設環境を醸成していくことが課題となる。具体的には，高齢者が健康で安心して過ごせる施設運営を継続しつつ，新規利用者や新しい世代の利用を見据えた講座・事業の展開が求められる。

５．労働条件審査の結果　※　審査結果の総評を記入

労働基準法及び労働安全法に準拠しており，適切な運用が行われている。